



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム
コード番号 9445 URL <http://www.forvaltel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷井 剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山本 忠幸

TEL 03-3233-1301

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,053	3.2	114	89.6	109	89.1	114	290.0
25年3月期第1四半期	2,959	△10.2	60	16.6	57	24.9	29	136.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 114百万円 (311.4%) 25年3月期第1四半期 27百万円 (149.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	683.51	—
25年3月期第1四半期	175.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	4,881	1,828	37.3	10,897.79
25年3月期	5,249	1,847	35.0	11,014.28

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 1,819百万円 25年3月期 1,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	700.00	—	800.00	1,500.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	700.00	—	800.00	1,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	0.1	430	2.1	425	0.6	260	2.4	1,557.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	166,932 株	25年3月期	166,932 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	166,932 株	25年3月期1Q	166,932 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度における我が国経済は、政府・日本銀行による脱デフレ・景気回復策への期待感と円安の進行による輸出関連企業の業績回復傾向などから、株式相場が活況を呈するなど景況感は明るさを増したものの、実態経済が回復基調に転ずるまでには至りませんでした。

当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、スマートフォン・タブレット端末の急激な普及に伴い、増加したデータ量への対応が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、おとくライン、FMC (Fixed Mobile Convergence) サービス等「IP&Mobileソリューション」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である(株)FISソリューションズにおいては、光ファイバー対応IP電話「FTフォン(スマートひかり)」、法人を対象とした「おとくライン」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「ツーウェイスマート」を中心に、インターネットサービス、情報通信機器販売等を提供しております。

当社連結子会社である(株)トライ・エックスを中心とするセグメントでは、当社サービスの利用顧客からのニーズが強い「ドキュメント・ソリューション」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社及び当社連結子会社である(株)保険ステーションにおいては、当社サービスを利用している顧客へ「コンサルティング」を提供しております。

これらにより、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が30億53百万円(前年同四半期比3.2%増)、営業利益が1億14百万円(前年同四半期比89.6%増)、経常利益が1億9百万円(前年同四半期比89.1%増)、四半期純利益が1億14百万円(前年同四半期比290.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

《IP & Mobileソリューション事業》

「IP & Mobileソリューション事業」におきましては、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は21億43百万円(前年同四半期比7.7%減)、セグメント利益は5百万円(前年同四半期比74.6%減)となりました。

《ドキュメント・ソリューション事業》

「ドキュメント・ソリューション事業」は、普通印刷、印刷物のプランニング・デザイン等を行っております。当第1四半期連結累計期間の売上高は4億72百万円(前年同四半期比18.7%増)、セグメント利益は67百万円(前年同四半期比140.0%増)となりました。

《コンサルティング事業》

「コンサルティング事業」は、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティコンサルティング等を行っております。当第1四半期連結累計期間の売上高は4億33百万円(前年同四半期比83.3%増)、セグメント利益は47百万円(前年同四半期比133.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は48億81百万円となり、前連結会計年度末比3億68百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少(69百万円)及び受取手形及び売掛金の減少(2億63百万円)によるものであります。

負債の残高は30億52百万円となり、前連結会計年度末比3億49百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少(2億6百万円)、短期借入金の減少(39百万円)及び未払法人税等の減少(66百万円)によるものであります。

少数株主持分の残高は9百万円となりました。また、純資産の残高は18億28百万円となり、前連結会計年度末比19百万円の減少となりました。これは主に、四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	996,856	927,423
受取手形及び売掛金	1,912,791	1,648,863
商品及び製品	75,396	94,733
仕掛品	77,444	39,305
原材料及び貯蔵品	6,060	5,282
その他	661,723	726,089
貸倒引当金	△22,390	△45,289
流動資産合計	3,707,883	3,396,408
固定資産		
有形固定資産	740,947	729,689
無形固定資産		
のれん	170,595	161,630
その他	106,210	92,736
無形固定資産合計	276,805	254,367
投資その他の資産		
その他	572,170	513,652
貸倒引当金	△48,371	△13,194
投資その他の資産合計	523,798	500,458
固定資産合計	1,541,552	1,484,515
繰延資産		
社債発行費	515	206
繰延資産合計	515	206
資産合計	5,249,951	4,881,129
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,386,888	1,180,419
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
短期借入金	198,996	159,383
未払金	772,897	792,734
未払法人税等	73,362	7,086
賞与引当金	74,350	35,856
役員賞与引当金	14,000	5,000
その他	261,320	287,195
流動負債合計	3,081,815	2,767,675
固定負債		
長期借入金	104,672	80,173
退職給付引当金	105,056	109,937
その他	110,664	94,885
固定負債合計	320,393	284,996
負債合計	3,402,208	3,052,672

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	1,253,927	1,234,481
株主資本合計	1,838,635	1,819,189
少数株主持分	9,107	9,267
純資産合計	1,847,742	1,828,457
負債純資産合計	5,249,951	4,881,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	2,959,506	3,053,448
売上原価	2,399,339	2,425,466
売上総利益	560,166	627,982
販売費及び一般管理費	499,703	513,366
営業利益	60,463	114,615
営業外収益		
受取利息	1,215	53
保険解約返戻金	—	1,379
違約金収入	3,103	—
その他	2,507	1,762
営業外収益合計	6,826	3,194
営業外費用		
支払利息	4,651	3,697
持分法による投資損失	927	2,825
その他	3,950	2,064
営業外費用合計	9,530	8,587
経常利益	57,759	109,222
特別利益		
投資有価証券売却益	—	12,886
特別利益合計	—	12,886
特別損失		
固定資産除却損	59	—
減損損失	—	20,391
特別損失合計	59	20,391
税金等調整前四半期純利益	57,699	101,718
法人税、住民税及び事業税	22,898	6,191
法人税等調整額	5,403	△18,733
法人税等合計	28,302	△12,541
少数株主損益調整前四半期純利益	29,397	114,260
少数株主利益	141	160
四半期純利益	29,255	114,100

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	29,397	114,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,627	—
その他の包括利益合計	△1,627	—
四半期包括利益	27,770	114,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,628	114,100
少数株主に係る四半期包括利益	141	160

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,322,126	397,581	236,765	2,956,473	3,033	2,959,506
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,340	1,517	2,693	7,551	—	7,551
計	2,325,466	399,098	239,458	2,964,024	3,033	2,967,057
セグメント利益	21,024	28,136	20,272	69,434	△1,680	67,753

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業を含んでおりません。なお、平成24年3月31日に「ドキュメント・ソリューション事業」に含まれている当社の連結子会社の株式会社新英のドキュメント・ソリューション事業を第三者に事業譲渡いたしました。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	69,434
「その他」の区分の利益	△1,680
セグメント間取引消去	1,674
のれんの償却額	△8,964
四半期連結損益計算書の営業利益	60,463

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,143,587	472,073	433,888	3,049,548	3,900	3,053,448
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,147	1,929	1,845	7,923	—	7,923
計	2,147,734	474,002	435,734	3,057,472	3,900	3,061,372
セグメント利益	5,348	67,515	47,394	120,258	3,101	123,359

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	120,258
「その他」の区分の利益	3,101
セグメント間取引消去	219
のれんの償却額	△8,964
四半期連結損益計算書の営業利益	114,615

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「IP&Mobileソリューション事業」セグメントにおいて遊休資産の減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において15,119千円であります。

また、「コンサルティング事業」セグメントにおいてソフトウェアを減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において5,271千円であります。